

諫早自衛隊協力3団体新年会来賓祝辞

新年 おめでとうございます。

本日は、諫早自衛隊協力3団体新年会にお招き頂き、誠にありがとうございます。皆様には、平素より自衛隊の任務、諸活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、国際情勢が混迷の度合いを深める中、朝鮮半島を巡る情勢の緊迫化はもとより、中国の海洋における力を背景とした現状変更の試みが繰り返されるなど、アジア太平洋地域の情勢は、ますます厳しいものがあります。

今、自衛隊には、こうした状況を如何に武力紛争に転じさせないかが求められています。そのために自衛隊は、今年も有効な抑止力として機能しなければなりません。防衛力整備はもとより、我が国周辺海空域における警戒監視、弾道ミサイル等破壊措置命令に伴う行動、米軍をはじめ、二国間、多国間の共同訓練、あるいは各種防衛交流などは、まさに武力紛争を起こさせない抑止のための努力にほかなりません。また、万が一、事態が生起したときには、実効性のある対処が必要であり、平素の諸活動、訓練は、そのための備えです。

こうした中、我々現場の部隊としては、今年も任務に即応できる精強な部隊の錬成に努めて参りたいと思います。そして、精強な部隊の源である隊員の強い使命感と高い士気は、地域の皆様、国民からの信頼と期待に支えられています。

防衛協会の全国組織である全国防衛協会連合会は、今年で30年目を迎え、現在の会員は60万余名を数え、家族会は名称変更から1年が経過し全国会員約9万人、そして、隊友会は、退職者及び予備自衛官等 全国で正会員約7万7千名です。全国でこうした皆様が、今後とも組織間の相互連携を強めて頂き、一体となって自衛隊を支援していただけたなら、こんなに心強いことはありません。

皆様方におかれましては、引き続き地域と自衛隊の懸け橋となって頂き、国民の自衛隊の任務・訓練に対する理解促進をお願い申し上げますとともに、昨今一層厳しさを増している募集への協力、あるいは隊員が後顧の憂いなく任務に従事するための家族支援など、今後とも、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、精強な部隊を作るためには、訓練精倒でなければなりません。引き続き、自衛隊が任務及び訓練に集中できる地域の環境の醸成、構築についてご理解とご協力いただければ幸いです。

結びに、防衛協会、自衛隊家族会及び隊友会各3団体の益々のご発展と連携の進展、そして、本日ここにご参会の皆様の健勝を祈念申し上げまして、お祝の言葉とさせていただきます。

平成30年1月18日

海上自衛隊 第22航空群司令

大町 克士